

ナニ？コレ！消費者問題 ～暮らしやすい地域をつくろう～

消費者被害と気がつかない、気がついて相談することを知らない人がいます。特に、高齢者や若者にこのような被害が増えています。消費者被害にあうような孤立する地域社会の中の暮らしを、どのようにつなごうと、消費者としてどのように行動し、安全で暮らしやすい地域をつくるのか、一緒に考えてみませんか？大学生、消費者団体、行政のユニークな取組から見つけたことを、私達の発信、行動、ネットワークにつなげましょう！！

皆様のご参加をお待ちしています。

2010年11月13日(土) 場所：弘済会館4階 萩

10:00 ▶ 開会 挨拶、趣旨説明 (9:30 開場)

10:05 ▶ パネルディスカッション

「安心して暮らしやすい地域社会のための消費者行政の充実とは？」

11:20 ▶ 休憩

11:35 ▶ 会場からの質疑応答

12:00 ▶ 分散会の意見交換

12:45 ▶ 分散会、分科会全体のまとめ

13:00 ▶ 閉会

Profile

青山 侑さん やすし コーディネーター

平成11年(1999)から15年(2003)まで石原慎太郎知事のもとで東京都副知事(危機管理、防災、都市構造、財政等を担当)。2004年4月に明治大学公共政策大学院 教授就任。消費者機構日本(COJ)会長



パネリスト

伊藤 久美子さん 三重県 生活・文化交通安全・消費生活室 消費生活特命監
鶴谷 緑平さん 世田谷区生活文化消費生活課区民講師(ひとえの会)
志水 一平さん 全国大学生協同組合連合会 学生委員長(全国理事、常務理事)

分科会

考えよう！安心できる社会保障制度とその財源

社会保障制度がほころび、国民生活に多大な不安をもたらしています。また、老人の孤独死や子どもの貧困・虐待問題に多くの方が心を痛めています。

安心して暮らせる社会にしたいと誰もが願っていますが、現状をどのように捉えて変えていけばよいのか、その財源はどこから見ればよいのか、について議論が必要です。

これらの問題と私たちが果たすべき役割について、いっしょに学び、率直な意見交換をしたいと思います。

2010年11月13日(土) 場所：弘済会館4階 梅

10:00 ▶ 開会 (9:30 開場)

10:05 ▶ 講演：「社会保障のあり方を考える」

芝田英昭さん

11:25 ▶ 報告1：「子育て世代の今一保育現場から見えること」 上野さと子さん

11:45 ▶ 報告2：「『無縁社会』の深まりの中、高齢者のいのちとくらしはいま…地域医療の現場から見えること」 吉岡尚志さん

12:05 ▶ 昼食・休憩

13:15 ▶ 参加者との意見交換

「安心できる社会保障制度とその財源」

15:00 ▶ 閉会

Profile

芝田 英昭さん 講演者

立教大学コミュニティ福祉学部教授、専攻：社会保障論、博士(社会学) 1958年福井県生まれ。金沢大学大学院人間社会環境研究科博士後期課程単位取得退学。福井県職員、立命館大学等を経て2009年より現職。



主要研究テーマ：国保資格証明書 著書：国保はどこへ向かうのか—再生への道をさぐる[単行本] 新日本出版社(発売日 2010/03)

報告者

上野 さと子さん(全国保育団体連絡会副会長)
吉岡 尚志さん(東京西部保健生活協同組合専務理事)

みんなで話そう ～食の大切さ再発見！～

情報があふれる現在、私たちは食べることでどう向き合ったら良いのでしょうか。忙しい毎日の生活のなかで、忘れていないことではないでしょうか。

食分科会は、食と農の大切さや食に関わるコミュニケーションのあり方について、食育を中心に活躍されている松成容子さんから、活動経験を含めて問題提起をしていただいた後、ワークショップ形式で参加者どうしで考える企画です。みんなで語り、共に考えましょう。

2010年11月13日(土) 場所：弘済会館4階 蘭

10:00 ▶ 開会 挨拶、趣旨説明 (9:30 開場)

10:05 ▶ 講演

松成容子さん(NPO法人 食育研究会 Mogu Mogu 代表)

11:05 ▶ ワークショップ

12:30 ▶ 事例報告

13:00 ▶ 閉会



Profile

松成 容子さん

岡山県出身。奈良女子大学家政学部食物学科卒。東京学芸大学大学院を経て、岡田企画事務所入社。1992年、有限会社たまご社(編集プロダクション)を設立。1999年、フランスチーズ鑑評騎士の会より「シュヴァリエ」を受章。その一方で、子育てを機に、1996年からフランスの食教育取材を開始。現在は日本の食教育に重点をおく。2003年、NPO法人食育研究会 Mogu Mogu 理事長就任。

Mogu Mogu ホームページより

食育とは、食に関心をもち、食に自立していくこと。私たちは、その体験の場と機会を創っていきます。

安心して暮らせる未来のために ～“低炭素社会”に向けて、生き物・くらし・私たちにできること～

生き物や私たちが安心して暮らし続けるためには、低炭素社会の実現が望めます。しかし、様々な取組みをしているにもかかわらず、温室効果ガスの排出量は減っていません。なぜ減らないのか？これから何をすればよいのか？このプログラムに参加してみんなで一緒に考えましょう！

2010年11月13日(土) 場所：弘済会館4階 菊

13:00 ▶ 開会 (12:30 開場)

13:05 ▶ 環境井戸端会議

～低炭素社会への道すじ～

コーディネーター：藤野 純一さん

「今まで地球環境のためにこんな活動をしてきた」「これから環境のためにしなくちゃならないことって何？」低炭素社会にするためにはどんな対策があるのか？それは“投資”なのか？“負担”なのか？今からできること、みんなでみつけましょう！

15:30 ▶ 閉会

Profile

藤野 純一さん

(独) 国立環境研究所 地球環境研究センター 温暖化対策評価研究室 主任研究員
中央環境審議会地球環境部会
中長期ロードマップ小委員会専門委員



専門分野は「環境・エネルギーシステム分析」。日本、アジア、世界の持続可能な低炭素社会シナリオ構築を行い、専門委員として、2020年25%削減を実現する道筋検討に貢献されています。

○著書「低炭素社会に向けた12の方策」(2009年9月 日刊工業新聞社)